



さんだワイズメンズクラブ

さんだワイズメンズクラブ

〒669-1512

三田市高次 2-11-16

安行英文

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

No.28-9 March 2021

会長主題:『出来ることを、最大限に！—小さなことこそ、コツコツと—』

国際主題:『Trust in the river life』

『命の川を信じよう』

アジア主題『変化をもたらそう』

西日本区主題:『Let's do it now!』

六甲部主題:『行動に信念を、信念は行動に』

会長: 安行 暁子
書記: 松本 美耶子
会計: 安行 暁子
会計監査: 竹内 一夫
担当主事: 齊藤 靖
ブリテン: 松本 文男

3月の例会

◆3月第1例会 3月5日(金)

16:30~ 於 安行邸

ドライバー 松本 文男

開会点鐘 会長 安行 暁子

ワイズソング ー 同

聖書・お祈り

協議

① 六甲部第2回評議会について

② 今後の例会について

③ その他

報告

部長 会長 YMCA

閉会点鐘 会長 安行 暁子

◆3月第2例会 3月24日(水)

19:00~ 於 安行邸

協議

● 六甲部第2回評議会について

● これからの六甲部について

● 今後の例会について

● その他

今月の聖句

「愛は、すべてを完成させるきずなです」

コロサイの信徒への手紙 3章14節

今後の予定

◆六甲部第2回評議会 3月28日(日)

14:00~書面ズーム併用

◆4月第1例会 4月14日(水)

19:00~ 於 高次 安行邸

◆4月第2例会 4月28日(水)

19:00~ 於 高次 安行邸

2月のデータ(在籍者 8名)
出席 メン7名 出席率 87.5%
ニコニコファンド(2月) 0円

累計 25,380円

2月第1例会報告

日 時:2月10日(水)

19:00~20:00

安行英文メン招待による Zoom 会議

参加者:安行英文・暁子、竹内一夫・路子

松本文男・美耶子、齋藤 靖

ドライバー 竹内一夫

2月ブリテン記載の例会次第に沿って進行。

〈協議事項〉

① 六甲部第2回評議会について

・開催案内・書類提出要領は安行部長より2月1日(月)付で配信。

開催時間・締め切り日の修正を2日に送信し、6日(土)の部長・会長会議(別記録)においても伝え済み。

記録は評議会資料に添える。

・西宮クラブ小野メンより第1回評議会にて提出・承認の議案は、部長引継ぎ案件として部長に一任となり、なしとなった。

・議決事項は一人一人葉書送付ではなく、配信により各クラブで取りまとめていただく。

・昨年度から実施のピンクシャツデーについては、もう少し具体的に何をするのかの申し入れをする。→2月23日(土)にチラシ修正依頼あり。

・六甲部会計について竹内会計より1万円の各クラブへの支援金の振り込みは5クラブ完了。

あと3クラブへの振り込み後、六甲部会計は83万円余になる予定。

→3クラブへ現金送付

② 今後の例会について

・活動は、新型コロナワクチンの出回る5、6月頃からはなる見通し。

・黒枝豆の畑は確保しているが、草抜きなどの作業がある。

・さんだクラブのニコニコとファンド会計からの国際協力募金とかるがも園

への寄付は、2月中に届ける。

〈報告事項〉

YMCA 齊藤主事

・「留学生への生活支援ありがとうございます」の報告が画面共有により紹介。

3ページに写真

確認・質問として

・次々期部長推薦の議案提出のこと。

・バレンタインコンサートに替わる秋のコンサートについて→実施決定済み

・YMCAの留学生の生活の現況は？

齊藤主事より説明

※第2例会は2月24日(水)19:00よりZoomにより開催予定

→評議会資料未着多数で3月5日(水)

16:30からに延期 安行宅

〈配信〉

六甲部

2/21 宝塚クラブより

揚がれ希望の凧 案内

2/24 神戸ポートクラブ

入会式の予定

西日本区

2/1 理事通信2月号

2/8 EMC事業通信 No.1

2/9 新型コロナ対策委員会

クラブ活性化資金の交付申請

2/15 各種献金のお願い

2/16 アジア太平洋地域ブリテン2月

日本語版

ミャンマーの新設ワイズメンズ

クラブ支援クラブ募集

2/22 西日本区フォーラム案内 第

一報

2/25 第24回西日本区大会案内

留学生への生活支援、ありがとうございます！

～神戸ユネスコ協会とさんだワイズ
メンズクラブからの生活支援物資～

神戸ユネスコ協会とさんだワイズメンズクラブの方々より、お米やカップラーメン、食器などの生活用品をいただきました。

先日、学生に配布をして、「お米は助かります！」「洗剤欲しかった～」との声がありました。

みなさま、ご支援ありがとうございます！



(今月の聖句)



「愛は、すべてを完成させるきずなです」

今月の聖句「愛はすべてを完成させるきずなです」は、正確にはこの前に「これらすべてに加えて愛をみにつけなさい、という一文があります。「これらすべて」とは、具体的にはその直前で言われている事柄であり、そこには「憐みの心」「慈愛」「謙遜」「柔和」「寛容」「そして互いに忍び合い、責めるべきことがあっても許し合う心」とあります。つまりそれらが人間にあるのは当然の前提として、さらにあいをもって生きなさいと言われているのです。

しかしこれらのひとつひとつを私たちが持つということは決して簡単なことではありません。しかも、仮にそれらを持っていたとしても、そこに愛がなければ意味がないというのです。なぜ「愛」がなければ意味がないのでしょうか。それは、「憐みの心」も「謙遜」も「柔和」も「寛容」も「赦し合う心」も、それらがよりよく機能していきことができるように有機的に結びつけ、その人自身を、そしてその人にかかわる他者を生かす「絆」としての役割を、ただ「愛」だけが持っているからです。そして聖書においては「愛」とは「神そのもの」、またイエスキリストそのものなのです。言い換えれば「神はすべてを完成させるきずなです」ということでしょうか。見えない神が常に来ておられ、その力が働いているからこそ、私たちはこの世にあって、互いに助け合い、支え合い、思い合って生きることができるのです。

悲しみやくるしみや先の見えない状況の中でこそ生まれる絆もあります。コロナ禍にあってなお、分断ではなく人と人が繋がって生きる社会であってほしいと願います。絆が生れるとき、私たちもまた真実に「すべてを完成させる」神の愛をもって生きることができるでしょう。

摂津三田教会 牧師 西脇 正之